



■住みやすい町になると思いますね

今年の梅雨は、長かったですね。雨の中遊びに来た子どもたちは、中庭に出たいと大きなガラス戸を一生懸命開けようとしていました。今回のコロナの影響で、乳児健診が出来なかった期間、助産師が個別訪問をしていたのですが、その時に支援センターへの声かけをしてもらいました。赤ちゃんが生まれ、お兄ちゃんお姉ちゃんになった子をお母さんは、遊ばせてあげたいと連れて来ています。助産師にお母さんがアドバイスを受けている間、上の子どもたちはよく遊んでいます。その後は赤ちゃんを、私たちが見守る中、お母さんと遊べてうれしそうです。

ここでは、助産師、保健師、栄養士がいるので相談や支援が必要な時は、一緒に対応できることを心強く思います。

最近、桂川駅周辺の開発にともない、町外から引越して来た親子の利用が多くなりました。慣れてくると会話も弾み、その中で桂川町への感想や要望も聞かれます。『ひまわりのたね』でも「ハイハイ

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

- 【開館】月～金曜日 9～16時
 【場所】総合福祉センター
 「ひまわりの里」内
 【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者
 ※利用には保護者の付き添いが必要です
 【利用料】無料



▲大雨の後に小さな砂の柱がいくつもできました。

がいっぱいできてよかったね」や「何も分からないので、他の子と遊べる場所があって良かった。ともだちがいるとやっぱりうれしそうですね。」等と言われると、「桂川町に来てよかったと少しは思ってもらえたかな。」とうれしくなります。小さな町ですが住みやすい町になるといいですね。

長雨で外遊びができなかった分も今月は、中庭で砂遊びや水遊びを楽しみたいです。